

審議会名	令和7年度 第2回前橋市スポーツ推進審議会
日 時	令和8年2月19日(木) 午後2時00分～午後3時30分
場 所	前橋元気215階 中央公民館503学習室
出席者	(委員：8人) 遠藤会長、岩上副会長、狩野委員、塩原委員、木村委員、静委員、 中雄委員、金子委員 (事務局：6人) 高橋スポーツ課長、田村副参事、堀内係長、村岡室長、関口副主幹、 小林主事
欠席者	目黒委員、猿井委員、藤井委員、井出委員
内 容	【審議会】 1 開会 2 あいさつ 高橋スポーツ課長 3 報告事項 令和7年度事業報告について 4 審議事項 前橋市スポーツ推進計画の改訂について 5 閉会
決定事項	「前橋市スポーツ推進計画の改訂」に係る今後の進め方については、審議会において出された意見を踏まえ、市はパブリックコメントと同様に考え方を整理し、必要に応じて計画の修正案を作成する。その上で、計画(改訂版)の決定に先立ち、市の考え方および修正案について審議会の承認を得た後、計画(改訂版)を決定・公表することとし、了承された。
配布資料	令和7年度事業報告、前橋市スポーツ推進計画改訂案(本編)、前橋市スポーツ推進計画改訂案(概要版)
問合せ先	スポーツ課スポーツ施設係 027-898-5832

【審議会】

1 開会（事務局）

2 あいさつ

高橋スポーツ課長よりあいさつ。

3 報告事項

（1）令和7年度事業報告について

（事務局）

「令和7年度 スポーツ施設の主な工事等」、「湯けむり国スポ・全スポぐんま」の準備状況、「令和7年度 スポーツ振興事業」について説明。

（遠藤会長）

質問等がありますか。

（狩野委員）

地域スポーツクラブ活動補助金の申請団体は、どのような団体がありますか。

（事務局）

競技で言うと、野球やサッカーなど様々な競技団体から申請をいただいています。

（狩野委員）

一番申請が多いのは競技団体はサッカーですか。

（事務局）

野球とサッカーが多いと感じます。その他にもバドミントンやバレーボールの競技団体からも申請をいただいています。

（静委員）

地域スポーツクラブ活動補助金はどういう人、どういう団体が対象なのかということが聞きたかったのではないかと。スポーツ少年団なら誰でも申請できますというものではなかったと思う。

（狩野委員）

私も1回も活動はしていないが、団体登録をしている。スポーツ少年団内部では、地域スポーツクラブ活動補助金の情報が流れておらず、初めて知ったので聞いてみた。

（事務局）

前橋市ホームページや各中学校へは情報発信を行った。来年度の情報発信方法については、各団

体へ届くよう改めて見直したい。

(静委員)

地域スポーツクラブとして団体登録されている団体が対象。どの団体でも申請できるということではなく、何か条件があったと思うのですが。

(事務局)

市内の中学生が部活動をやっている受け皿となっただけの団体に対して支援を行うものになります。スポーツ少年団も中学生を受け入れていただいているというお話を聞いておりますので、申請条件が当てはまれば申請できます。

(遠藤会長)

スポーツ少年団には案内を出しているのか。

(事務局)

出していません。

(遠藤会長)

スポーツ少年団に所属する各団体へは案内を出しているのか。

(事務局)

中学生が部活動をやっている受け皿となっている団体を対象にした補助金であるため、スポーツ少年団全体へは周知していないが、団体登録を行った団体に周知を行っている。

(静委員)

今のスポーツ少年団は基本的に小学校が中心です。この活動補助金は、あくまでも学校部活動の地域展開の事業の一環なので、対象者が中学生なので、前橋市のスポーツ少年団は基本的には対象はほとんどないということ。

(遠藤会長)

他に質問等がありますか。

(静委員)

補修工事にあるトイレの洋式化について、何年も前からスポーツ団体からの要望を受けていると思う。また、や県外から来る団体にとってもトイレの印象は大事という事で、洋式化工事を行っていただいているが、現在の洋式化の進捗状況と来年度以降の計画について聞きたい。

(事務局)

現在、洋式化済みが7割、未実施が3割といったところ。建物内のトイレでブースを拡張しなければ洋式化が難しい場合や、利用が極端に少ないトイレが未実施で残ってしまっている状況。ブースの拡張を伴うとコストもかかってしまうため、少しずつにはなるが計画的に進めていく。

令和8年度は、国スポ会場となる施設で、計22器の洋式化工事を予定している。

(静委員)

スポーツ施設のLED化もかなり進んでいる状況ではあるが、まだLED化できていない施設はあるのか。また、導入はリースで行っているが、具体的にはどういうやり方なのか。

(事務局)

10年間のリース契約で行っており、リース契約は保守メンテナンスも含まれた契約となっています。令和8年度で一旦スポーツ施設のLED化が完了する予定です。

(遠藤会長)

他に質問等がありますか。

(中雄委員)

ビーチコート整備について、今まで開催した施設含め、一度砂を入れると何年くらい持つものなのでしょうか。数年経つと恐らく土が混ざったり風で飛散して減っていってしまう。早いうちに整備するという事で本番までに期間が空くので、再整備する必要が出てきてしまうのではないかと。それであれば、もう一つ価格の安い砂を購入し整備することでコストを抑えられるのではないかと。

(事務局)

ビーチコート周りには擁壁を立て、周りは防砂ネットで囲い対策する。砂の上については、東京都に視察に行った際、そこまで砂の飛散はないと聞いておりますが、群馬県の場合を考えると防砂シートを被せた方が良さだろうという事で、シートを被せることを想定している。他施設の話聞く限りは、協議に支障があるほど数年経って砂が減っているということは今のところ聞いていない。砂を若干購入したというのは聞いたが、東京都では4、5年経ってから購入したぐらいという話でしたので、何百何千万という費用にはならないと考えている。

(中雄委員)

砂が減るのもそうですが、群馬県ですとやはり風が強いので、土が流入するとどうしても砂は固くなってしまい、そうすると砂を総入れ替えすることになると思う。事務局よりシートを被せるという話があったが、入れるのは白い砂という事で色を含めどこまで状態を維持できるのかという部分で少し工夫が必要ではないかと。土の流入は考えておかないと厳しいと思うので、ぜひ対策をご検討いただきたい。

(事務局)

承知しました。

(静委員)

令和8年度からビーチコートを供用開始するにあたり、様々な用途で活用を図っていきたいという中で、シートを被せてしまうと活用がしづらくなってしまおうと考えるが、具体的にどのような用途での活用を考えているのか。

(事務局)

東京の施設へ視察に行った際には、ビーチサッカーやビーチテニス、子供たちの遊び場や陸上のトレーニングで使用したりと、かなり需要があると聞いている。埼玉の施設では、バレーボールコート半面ごとにシートを敷いており、大人2人でシートをめくってあげれば、そこまで手間のかかる様子はなく、運用上も問題ないと考えている。

(静委員)

群馬県は風が強いが、シートの固定はどうするのか。

(事務局)

土のう袋等で固定を考えている。埼玉も風が強いが、風でシートが飛んでしまったことはないと聞いている。

(遠藤会長)

他に質問等がありますか。

無いようなので、審議事項に移ります。「前橋市スポーツ推進計画の改訂」について、説明をお願いします。

(事務局)

資料に基づき、「前橋市スポーツ推進計画の改訂」について説明。

(遠藤会長)

質問等がありますか。

(中雄委員)

概要版の2ページ目、令和3年、7年のスポーツ実施率の比較のグラフを出していただき、実施率が63%に上がってきているのは良いこと。二極化と書いてあるが、令和3年は山が2つあるので二極化といえるが、令和7年は山が1つで一極の状態では二極化とはいえない。表現をうまくとらえないといけない。パブリックコメントで意見を伺う際、誤解を招く可能性があるので注意が必要。また、表現の問題ではあるが、改訂案の概要版1ページ目、するスポーツの定義「体を動かして行う運動やスポーツ全般を指します。」とあり、体を動かして行う運動がかなり強く出ており、スポーツの中にeスポーツが含まれていることが確認しづらい。eスポーツをスポーツとして捉えることは問題ないと思うが、運動の実施率とのリンクをどうするのか。スポーツをやっているという話であれば、eスポーツもスポーツなので、家で週1回以上やっているとスポーツということになる。身体活動を伴うものを週1回以上、健康維持のためにという話になれば住み分けが必要になると思うので、今回の改訂ではっきりできると良い。最後に、スポーツをみる・する・支えるの他、知るというのも入ってきている。国スポの話でどんな形で宣伝をしていくのか、また、新しいスポーツも色々と広がってきているという話も出てきており、特に行政発信の部分が該当すると思うので、行政が知る機会をどのように発信していくのかを発展的に入れていくと、次の改訂の時にキャッチフレーズも含めて繋がっていくと思う。

(事務局)

ありがとうございます。二極化という表現は、改めて検討したい。また、国の動きとして、新しい定義としてスポーツをする、みる、ささえるのほか、あつまる、つながるという2つの項目が追加された。今回はあくまでも中間改訂ということで、計画期間は変わらず令和9年度まで。令和10年度以降のスポーツ推進計画を策定する際には、新たな視点も見据えながら改訂を検討したいと考えている。また、eスポーツに関連して、スポーツとは体を動かして行う運動やスポーツ全般を指しますと定義している。eスポーツは体を動かして行うのだからスポーツだという声も確かにあるが、群馬県のスポーツ推進計画にeスポーツが盛り込まれているのと同様に、我々もeスポーツを従来の身体活動を伴うスポーツとは少し違う形で捉えなくては行けないと承知しているが、スポーツ文化の一部として積極的に推進を図っていきたいと考えている。eスポーツは健康づくりに寄与するのかという議論が市役所の中でもあるが、直接的な運動効果は限定的かと思う。ただ、eスポーツは社会参加、認知機能の維持、世代交流など健康の社会的側面に寄与すると考えているので、するスポーツ、みるスポーツとして今後推進していきたい。

(遠藤会長)

他に質問等がありますか。

(静委員)

あつまる、つながるという文言が入れられないか。例えば、eスポーツと言ったときにあつまる、つながるというイメージが出てくるので、文言的にはこの中で定義ができるのではないか。また、アンケートを重視し、週1日以上運動・スポーツを行う市民の割合70%を目標にしているが、スポーツとは身体活動を伴うものと定義しアンケートを取っているのか。スポーツ推進計画を改定してもアンケートのやり方が同じなら数値は変わらないのではないか。

(事務局)

住民基本台帳から無作為に抽出した2,000人が対象となっている。1年間自分でスポーツを行った日数はどれくらいか、するスポーツに関心があるかといった項目がある。

(静委員)

今後は、eスポーツも項目に追加していくのか。

(事務局)

追加していきたいと考えている。

(静委員)

eスポーツに関して、本編9ページの「eスポーツ普及促進事業」の記載内容に、「まちなかサロンなど」と記載があるが、「まちなかサロン」は特定の固有名詞であるため、「中心市街地など」と修正したほうが、eスポーツを通じたまちなかの賑わい創出に繋がるのではないか。

(事務局)

修正案について検討する。

(静委員)

私は運動は何をしていると聞かれれば、歩いていると回答する。アンケートの内容次第で70%という目標達成は不可能ではない気がする。運動は健康という意味ですごく重要視されており、歩くことはもっと大切。人によっては、朝に体操を行うなど、軽い運動を行っている人もいますので、それも運動と含めてアンケートを行うと良い。

また、そもそもの話で恐縮だが、本編では3ページの「3 計画期間」の表記では「計画期間は変更せず」となっており、概要版では1ページの「計画期間」の表記では「計画期間は、令和5年度から9年度までの5年間で変更はありません。」となっているが、今回は中間改訂であり、当初設定した計画期間を変更しないことは当然のことで、この記載には違和感を感じる。

さらに細かい話になるが、前回のスポーツ推進計画では障がい者スポーツの「がい」の字は平仮名であったが、今回は漢字になっている。表記については様々な見解はあるが、今回漢字表記にした理由は何か。

(事務局)

国の方針(第3期スポーツ基本計画)に合わせて漢字表記としたもの。

(木村委員)

県の障がい者スポーツ協会の会議に出席した際、議論した事項なので、中身について県の障がい者スポーツ協会へ確認してみると良い。一番参考になると思う。

また、中雄委員が話していたスポーツを「しる」ということも本当に良いこと。今、スポーツはどんどん変わっていきっており、これから国スポもありますので、意見としてではなくぜひ検討してほしい。

最後に、「する、みる、ささえる」というフレーズが、概要版の資料では赤字、本編では黒字表記になっているが、キャッチフレーズは赤字表記の方がインパクトがあるので、みなさんに周知徹底する方法として面白いと思う。

(事務局)

ありがとうございます。

(遠藤会長)

他に質問等がありますか。

(静委員)

概要版の15ページに「プロスポーツクラブ等への支援」とあるが、ここにある地元プロスポーツクラブの定義は何か。

(事務局)

ふるさと納税を活用して地元プロスポーツチームの支援を行う体制があるかないかで整理した。

(遠藤会長)

他に質問はありますか。

ないようですので、審議事項について、全て終了しましたので進行を終わります。

5 閉会